



千葉動力車

スト褒賞金地労委

第一回調査開催

ストライキへの圧殺攻撃を許すな!!

十二月六日、千葉県地方労働委員会において、動労千葉が行った昨年の十二・五をはじめとしたストライキに際し、JR東日本がスト破りに支払った褒賞金をめぐる不当労働行為事件の第一回調査が行われた。

動労千葉のこの申し立てについて、JR東日本は、「褒賞金は、就業規則に基づき、輸送の混乱時において輸送を確保するためにあらかじめ指定された勤務以外の勤務に従事した社員に対し、その労に報いるため一律に支給された」とスト破りに褒賞を与えたことを自認しながらも、高満にも「不当労働行為にあたらぬ」と主張している。

二万二千人に、二億六千万円を

そしてJR東日本は、これ以外にも、①昨年六月十八日の南武線踏切での衝突脱線事故の復旧作業(総額四十五万円)、

②昨年七月～八月の伊豆沖群発地震の警戒体制(総額六十八万円)、③本年一月二七～八日の新潟支社管内の雪害(総額三万五千元)、に褒賞金を支払ったと主張した。

ところが、スト褒賞金は当局の主張でも、対象者二万二千人、総額約二億六千万円にのぼり、褒賞金支給対象といい、その規模といい、従来と全く異なっていることがあ

きらかとなった。まさにこれは、スト破りのための褒賞金であり、不当労働行為であることを自認したに等しいのだ。次回から本件も審問へと進行することに決定され、第一回審問は中野委員長を証人に立て、組合側立証を行う。

ほんとうに労働者の心ですー協販部への手紙

九〇冬季物販も、のこすところあとわずかとなりました。いま協販部には連日五～六十通の注文が殺到し、発送担当者はうれしい悲鳴をあげています。

物販は、こうした人びとの力によって支えられています。十二月も残すところ三週間をきりましたが、目標達成へ最後の取り組みをお願いします。

貴組合の日夜の奮闘に心から尊敬しています。ほとんど全ての労働組合が資本の体制と一体になつて労働者を締め付け、あるいは全うに闘おうとない中であつて労働組合としての『あたりまえの労働運動』をあくま

で貫いて闘っておられる。貴組合はほんとうに労働者の心です。われわれの職場の労働組合もまったく、世間なみです。小生自身、現在なにもせず『だらく』しています。貴組合からの協力要請

に対しささやかではあります。小生の職場の同僚に呼びかけたところ呼びかけた人のほとんどは貴組合が依然として闘っていることに共感を示し協力してくれました。一時間ほどで十三名の協力を得ることができまし

た。他の職場へのオルグは出来ず(勇気がなく)まことに恥ずかしい次第です。心ある労働者人民は貴組合の闘いに注目しています。大変でしょうが闘いぬいて下さい。【関西の労働者】

抜いて……遅くなりまし。あまり遅くならない様にと切り上げてしまったので、少な目になってしまいました。申し訳ありません。注文が殺到する時期で、お忙しいと思います。お手数ですが、よろしくお願いします。これから寒くなります。お体大切にして頑張ってください。【東京の全通労働者】

反△ロ・運転保安確立！
業務移移管改撃撃粉砕
三月ダイヤ改阻止へ
ストライキで闘おう
第二四回定期委員会
一月二日一五時～二時
労働者福祉センターにて

三里塚現地集会
一月二日一六日(日)
十時 成田駅集合△日